

# 配慮は“できる”、“できない”の2択じゃない!!



「困っているので助けてほしい」と求められたとき、まずは、必要な人やもの、

状況などを考えあわせて、対応ができるのか、できないのか検討するよね。

でもね、この対応（「合理的配慮」っていうみたい）は、

いつも100点満点である必要はないんだって。求められる100点満点の

対応は無理だけど、別の方法で60点の対応ならできるんだけど…という場合も

あるよね。そんなとき、「すみません。それはできません。」と0点で

返事するんじゃなくて、代替りの60点の方法を提案するってことが、

大切なんだって。配慮を求める人と提供する人が建設的に対話することで

解決していくことが大事なポイントみたいだよ。

だから、配慮を検討するときは、代替案も含めて検討しなくちゃね。

